

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2018-194310 (P2018-194310A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2017-95529 (P2017-95529)

【国際特許分類】

G 0 4 R 20/02 (2013.01)

G 0 4 R 20/08 (2013.01)

G 0 4 R 20/26 (2013.01)

G 0 4 G 5/00 (2013.01)

G 0 4 C 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 4 R 20/02

G 0 4 R 20/08

G 0 4 R 20/26

G 0 4 G 5/00 K

G 0 4 C 9/00 3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 25 日 (2020.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

位置情報衛星から送信される衛星信号である第 1 信号を受信する第 1 受信部と、
標準電波信号または近距離無線信号である第 2 信号を受信する第 2 受信部と、
内部時刻を生成する時刻情報生成部と、

前記第 1 受信部を作動して前記第 1 信号を受信し、受信した前記第 1 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する第 1 時刻修正処理部と、

前記第 2 受信部を作動して前記第 2 信号を受信し、受信した前記第 2 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する第 2 時刻修正処理部と、

外部操作部材の所定の操作を検出して手動受信処理を行う手動受信処理部と、
予め設定された条件に該当した際に自動受信処理を行う自動受信処理部と、を備え、
前記手動受信処理部は、前記第 1 時刻修正処理部によって手動受信処理を実行し、
前記自動受信処理部は、前記第 2 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行することを特徴とする電子時計。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電子時計において、

前記手動受信処理部は、

前記外部操作部材の第 1 の操作を検出した場合は、前記第 1 時刻修正処理部によって手動受信処理を実行し、

前記外部操作部材の第 2 の操作を検出した場合は、前記第 2 時刻修正処理部によって手動受信処理を実行する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の電子時計において、

前記第 1 時刻修正処理部は、

前記第 1 受信部を作動して複数の位置情報衛星から前記第 1 信号を受信し、受信した前記第 1 信号に基づいて測位を行い、測位結果に基づいて得られた時刻情報で前記内部時刻を修正する測位処理部と、

前記第 1 受信部を作動して少なくとも 1 つの位置情報衛星から前記第 1 信号を受信し、受信した前記第 1 信号から取得した時刻情報で前記内部時刻を修正する測時処理部と、を備え、

前記手動受信処理部は、

前記外部操作部材の測位受信操作を検出した場合は、前記測位処理部によって手動受信処理を実行し、

前記外部操作部材の測時受信操作を検出した場合は、前記測時処理部によって手動受信処理を実行する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 4】

位置情報衛星から送信される衛星信号である第 1 信号を受信する第 1 受信部と、

標準電波信号または近距離無線信号である第 2 信号を受信する第 2 受信部と、

内部時刻を生成する時刻情報生成部と、

前記第 1 受信部を作動して前記第 1 信号を受信し、受信した前記第 1 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する第 1 時刻修正処理部と、

前記第 2 受信部を作動して前記第 2 信号を受信し、受信した前記第 2 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する第 2 時刻修正処理部と、

予め設定された条件に該当した際に自動受信処理を行う自動受信処理部と、を備え、

前記自動受信処理部は、

前記第 1 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行する第 1 自動受信モードと、前記第 2 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行する第 2 自動受信モードと、を切り替えて設定し、

前記第 2 自動受信モードに設定されている場合は、前記第 1 時刻修正処理部によって自動受信処理を行うことを禁止し、

前記第 1 自動受信モードに設定されている場合は、前記第 2 時刻修正処理部によって自動受信処理を行うことを禁止する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の電子時計において、

前記自動受信処理部は、前記第 2 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行できない環境にある場合は、前記第 1 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行するモードを設定する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の電子時計において、

前記第 2 信号は前記標準電波信号であり、

前記自動受信処理部は、現在地が前記標準電波信号を受信できない地域である場合に、前記第 2 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行できない環境にあると判定する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の電子時計において、

外部操作部材の所定の操作を検出して手動受信処理を行う手動受信処理部を備え、

前記手動受信処理部は、

前記第 1 自動受信モードに設定されている場合は、前記第 2 時刻修正処理部による前記

手動受信処理を禁止し、

前記第 2 自動受信モードに設定されている場合は、前記第 2 時刻修正処理部による前記手動受信処理を実行する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 8】

請求項 5 に記載の電子時計において、

前記第 2 信号は電子機器から送信される近距離無線信号であり、

前記自動受信処理部は、前記第 2 受信部と前記電子機器との通信リンクが確立していない場合に、前記第 2 時刻修正処理部によって自動受信処理を実行できない環境にあると判定する

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 9】

位置情報衛星から送信される衛星信号である第 1 信号を受信する第 1 受信部と、

標準電波信号または近距離無線信号である第 2 信号を受信する第 2 受信部と、

内部時刻を生成する時刻情報生成部と、

外部操作部材とを備えた電子時計の制御方法であって、

前記外部操作部材の所定の操作を検出した際に、前記第 1 受信部を作動して前記第 1 信号の受信処理を実行し、前記第 1 信号を受信できた場合に、前記第 1 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する手動受信処理を実行し、

予め設定された条件に該当した際に、前記第 2 受信部を作動して前記第 2 信号の受信処理を実行し、前記第 2 信号を受信できた場合に、前記第 2 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する自動受信処理を実行する

ことを特徴とする電子時計の制御方法。

【請求項 10】

位置情報衛星から送信される衛星信号である第 1 信号を受信する第 1 受信部と、

標準電波信号または近距離無線信号である第 2 信号を受信する第 2 受信部と、

内部時刻を生成する時刻情報生成部とを備えた電子時計の制御方法であって、

予め設定された条件に該当した際に、前記第 1 受信部を作動して前記第 1 信号の受信処理を実行し、前記第 1 信号を受信できた場合に、前記第 1 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する自動受信処理を実行する第 1 自動受信モードと、予め設定された条件に該当した際に、前記第 2 受信部を作動して前記第 2 信号の受信処理を実行し、前記第 2 信号を受信できた場合に、前記第 2 信号から時刻情報を取得して前記内部時刻を修正する自動受信処理を実行する第 2 自動受信モードと、を切り替えて設定し、

前記第 2 自動受信モードに設定されている場合は、前記第 1 受信部による前記第 1 信号の自動受信処理を禁止し、

前記第 1 自動受信モードに設定されている場合は、前記第 2 受信部による前記第 2 信号の自動受信処理を禁止する

ことを特徴とする電子時計の制御方法。